

RI会長
バリー・ラシン

インスピレーションになる

ま
る
が
め

週報

2018.10.18
Vol.56
№15
(2726)
 会員数 60名 出席者48名・欠席者11名・免除会員3名
 欠 席 者 秋山憲・麻田・和泉享・加内・岸上・眞鍋・松山・竹中・谷本
 中野昌・野口・会員

前々回出席率 82.46%(10/4)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

 会 長 川原 一夫
 幹 事 福田 洋子
 会報委員長 岡田 将一郎

お知らせ

- ∴ 10月のプログラム
4 (No.1)-客話
11 (No.2)-会員卓話
18 (No.3)-会員卓話
25 (No.4)-クラブフォーラム

- ∴ 他RC例会変更
丸亀東 10/9 職場例会
10/23 夜間例会
坂出東 10/24 松茸夜間例会
善通寺 10/31 移動例会

- ∴ ニコニコBOX;
よいことがありました
橘君

<ニコニコ会計累積/¥157,623>

- ∴ がんばるBOX;
出席できなくて
竹内一美君
早退します
高岡君 富田君
なんとなく
山内君
古川芳久さんの卓話を聞いて
川原君

<がんばる会計累積/¥148,000>

例会場・事務局

丸亀市塩飽町50-3
丸亀プラザホテル内

■会長挨拶

「ハレ」と「ケ」

「ハレ」と「ケ」は、日本を代表する民俗学者の柳田國男が、日本人の伝統的な世界観を表現した言葉です。今から50年ぐらい前は、「ハレ」祭りや結婚式といった特別の日で非日常の日の「ハレ」と、普段の日常の日の「ケ」に分けられていたと思います。現在はハレとケは、非常に近い距離になって来て、またその両方大切にしたいと思う傾向にあります。その変化に対応した都市があります。そのひとつが東京都江東区の砂町銀座商店街です。道幅3~5mの路地裏商店街です。東西を隅田川と荒川に挟まれ、北は都営新宿線と南は東西線に囲まれたところであり、アクセスするには都営バスしかないまるで陸の孤島のようなところ。そんな不便と思えるところに、10数年前から若い世代の方が増えています。日経新聞でも「訪ねてみたい商店街」3位選ばれてあります。この商店街は、人通りが絶えることなく、特に毎月10日には「バカ値市」と呼ばれる大安売りをしている。約180店舗ある店で特徴ある商品で作り、顧客を引きつけています。人、人でいっぱいになり平日で1日15000人、休日20000人ほど来るそうです。商店街には、「賑わい」、「界隈性」が不可欠だと云われています。農耕民族であった日本では、日常では単調な繰り返しの日々、祭りや旅と云った特別な日には、日常を忘れて楽しむ習慣がありました。しかしながら現在は、日常をどう楽しむか、どう生きるかに関心が寄せられる時代になり、これからは「日常の延長に特別な日」があるということが生きていくうえでとても大切なことのように思いました。

■例会事業;会員卓話;古川新入会員

- 1 自己紹介
- 2 四国の電信電話の歴史 丸亀電報電話局の歴史
- 3 最近のNTT西日本の動向

この三つのテーマでお話したいと思います

自己紹介

昭和26年7月28日

香川県小豆郡内海町(現小豆島町)安田に古川家の三男(双子の弟)として生まれる

家族構成 妻 二男一女

趣味 ランニング 園芸 人生の10転換期

- 1 昭和26年7月 双子の弟として生まれる
双子の兄は本家に養子縁組
- 2 中学入学し マラソン部に入部(野球部希望?)
初レース1500メートルで最下位
- 3 昭和45年4月 日本電信電話公社に入社
- 4 昭和47年 劇団「五月」を結成(大道具担当)
2年間で13回舞台に立つ
昭和47年 県大会優勝 全国大会優秀賞



(裏へ続く)

2018.10.18

Vol.56

No15

(2726)

- 5 昭和49年51年の二度 台風で実家が倒壊
- 6 昭和51年5月 24歳で結婚
- 7 昭和53年4月 電電公社の大学部(東京)に入学
- 8 平成7年~11年 椎間板ヘルニアで3回入院
大好きなゴルフを断念
ランニングも20年間休走(現在5キロメートル程度)
- 9 平成22年 NTTを退社し関連企業に入社
電電公社 NTT生活40年間で20回の転勤
- 10 平成30年 NTTへ復帰 現在に至る

四国の電信電話の歴史 丸亀電報電話局の歴史

四国の電信は香川から始まりました。
明治10年3月に玉藻城と丸亀歩兵12連隊の兵営内で開始されました。
電話も香川から始まりました。
明治40年2月高松で、43年2月丸亀で電話交換業務が始まりました。

最近のNTT西日本の動向

NTT西日本の電話契約数は、平成11年度の2800万加入から平成29年度883万加入に約3分の一に減少しました。

その為、今は、社会問題を光で解決する「ICT」企業へ転身しています。

「ICT」とは情報処理や通信に関連する技術、産業、設備、サービスなどの総称です。

情報通信技術を利用した、情報や知識の共有、伝達といった「コミュニケーションの重要性」を伝える言葉としてITより一般的になっています。

取り組みとしては、地方創生、働き方改革、サイバー攻撃脅威、社会インフラ維持、少子化教育改革、自然災害対策、高齢化社会が挙げられます。

地方創生の取り組みとしては、「誰でも」「無料で」「簡単に」利用できる無料公衆LANサービス「かがわWi-Fi」を開始しています。

「かがわWi-Fi」の設置数は平成26年の61箇所から、平成29年には900箇所に増えています。

丸亀地区では88箇所設置されています。

また、香川県多言語コールセンターの運営もお手伝いしています。

英語・中国語・韓国語・タイ語・ベトナム語・スペイン語・ポルトガル語・フランス語・タガログ語、計9言語に対応しています。

私のモットー(かきくけこ人生)

「か」 今変える(Change Now)

(改革 改善 改良)

「き」 何事も気持ち大切に

(気力 気合い 気配り)

「く」 苦しい時がチャンス

(工夫 苦心 苦労)

「け」 経験は宝 評論家はいらぬ

(経験 継続 健康)

「こ」 根気よく粘りつよく

(根性 根気 行動)

これからも、NTT西日本はICTで香川のみなさん、丸亀のみなさんの社会問題解決に貢献します。

ご静聴ありがとうございました。